

さいたま市立大谷場中学校 各教科の内容と評価観点 [技術・家庭(技術分野)]

教科の目標	<p>○生活や社会で利用されている技術についての基礎的な理解を図る。</p> <p>○それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関連との関わりについて理解を深める。</p> <p>○生活や社会の中から技術に関わる課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、具体化し、実践を評価・改善するなどをする。</p> <p>○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
-------	--

	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2 年	趣旨	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	評価の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な授業への参加 (発表、発言、質問、聞く態度等) ・提出物等への自主的な取り組み ・製作物等の状況 (作業時間、道具の使い方、仕上がり状況など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な解決方法の探求や工夫 (提出物の内容、作業時の工夫、発明創意くふう展等) ・「生活や社会を支える技術」、「技術による問題解決」「社会の発展と技術」を踏まえ、学習過程における位置づけを踏まえた思考力など 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強さ(知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることへの粘り強い取り組みなど) ・自らの学習の調整(粘り強い取り組みの中で自らの学習を調整しようとする取り組みなど) ・学びの経験を通して、涵養された、技術を工夫し創造しようとする態度

	単元・教材・題材等	学習目標・学習内容・学習活動等	評価の方法
1 学 期	題材2-1 エネルギー変換をしている機器や機械について学ぼう!	<p>○様々な機器を通じて、エネルギーとエネルギー変換を理解する。</p> <p>○エネルギー資源の種類とその利用法を理解する。</p> <p>○身の回りの電源の種類と特徴を知る。</p> <p>○電気エネルギーの変換のしくみを理解し、適切な利用方法が選択できる。</p> <p>○機器の安全な利用と保守点検について理解する。</p> <p>○LEDを利用した簡単な電気回路について理解し設計する。</p>	<p>○授業観察 (発表、発言、質問、聞く態度等)</p> <p>○ワークシートの作り方の工夫</p> <p>○ワークシート、レポートの提出</p> <p>○定期テスト</p> <p>○小テスト</p> <p>○作業状況</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ○必要な部品を集め回路をはんだごてなどの工具を用いて製作する。 ○機器の安全な利用と保守点検について理解する。 ○新エネルギー開発などを推進する必要性と、そのための技術について理解を深める。 ○持続可能な社会を目指すために、これまで学んだエネルギー変換に関する技術を評価し、活用しようとする態度を身に付ける。 	<p>(工夫、技能、作業効率等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作品の状況
2 学 期	<p>題材 2-2 エネルギー変換を利用した生活に役立つ製 作品を作ろう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実習において、積極的に作業に取り組むことができる。 ○実習において、積極的にグループで協力することができる。 ○学習した内容をふまえ、実習に生かすことができる。 ○工具や機器について、適切に使用することができる。 ○生活に役立つ製品に利用した電気回路や仕組みについて理解する。 ○必要な部品を集め、電気回路をはんだごてなどの工具を用いて製作をする。 ○機器の安全な利用と保守点検について理解する。 ○新エネルギー開発などを推進する必要性と、そのための技術について理解を深める。 ○持続可能な社会を目指すために、これまで学んだエネルギー変換に関する技術を評価し、活用しようとする態度を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業観察 (発表、発言、質問、聞く態度等) ○ワークシート、レポートの提出 ○定期テスト ○小テスト ○作業状況 (工夫、技能、作業効率等) ○作品の仕上がり
3 学 期	<p>題材 2-3 プログラミングをやってみよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○コンピュータが機器を制御していることを知る。 ○コンピュータを用いた計測・制御の基本的な仕組みを知る。 (プログラムによる計測、制御、生活の中にある制御、計測・制御システム) ○情報を処理する手順を知り、目的や条件に合うプログラムを作成する。 (処理の手順とプログラム) 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業観察 (発表、発言、質問、聞く態度等) ○作品 ○プロロボワーク、レポートの提出 ○定期テスト ○小テスト ○プログラム (工夫、技能、作業効率等)